

## 三重短期大学出前授業 ●開催日:2023年 10月11日・11月15日

JIA三重では、県内の教育支援の一つとして三重短期大学への出張授業を毎年行っております。今年度は2023年10月11日(水)と11月15日(水)の2日間、生活科学科居住環境コース1年生31名を対象に課題Ⅰ「小空間の設計」の授業に参加致しました。



4.5mの立方体の空間を各自の一人暮らし用住まいとして設計する課題で、限られた空間内で必要な設備を備えた独自の間取りを計画します。昨年までは課題Ⅱ「住宅の設計」を対象に出張授業を行ってきましたが、今年度は前段階である課題Ⅰで基本になる部分を少しでも理解して頂き課題Ⅱをより良い形で完成させる事が出来るのではと考えて変更してみる事になりました。

JIA三重からは10月11日エスキスのチェックに5名が参加し各自6名程度の学生のエスキスをチェックしてアドバイスをを行いました。半数以上の学生が建築を学ぶのが初めてであり設計がほとんど解らない状態でのエスキスですが、そこが良い面なのか構造などを重視しない独自性のある

エスキスプランが多く学生が楽しみながらプランニングされている事を感じました。

11月15日完成作品の講評には3名が参加し学生各自の完成品を見させて頂き選ばれた数名の学生が全体へプレゼンを行いました。短大生は2年間で建築の基本を勉強し社会で働く学生も多い事から一つの課題は重要であり建築の仕事に興味を持って頂く良い機会になればと思う事から、今後も続けていく事業であると考えています。

相原 宏康 (JIA三重)

Hiro\*設計室



## 三重建築学生合同課題発表会2023 ●開催日:2023年 12月9日

2023年12月9日(土曜日)三重大学のレーモンドホールでJIA三重主催の「三重建築学生合同課題発表会2023」が開催された。この企画は三重で建築を学ぶ学生がそれぞれの学校で出題された課題の成果品を参加者(一般学生および教授方)の前で発表し、建築家の講評を受けることで建築への意識や価値観を高め、建築に取り組む姿勢を学ぶ事を趣旨として2021年から毎年開催されている。今回も三重大学(2年生)、三重短期大学(2年生)近畿大学工業高等専門学校(5年生)の三校からそれぞれ代表者3名(残念ながら三重短は1名病欠)が力作を携え発表会に参加した。講評者はJIA三重の会員2名に加え、ゲストクリティックとして建築家の三谷裕樹氏に御参加いただいた。またJIA三重の研修会講師として前日から三重県入りされていた株式会社建築再構企画代表の佐久間悠氏に飛び入り参加していただき、豪華な顔ぶれの講評陣となった。



初めに三重大学の課題「公園に隣接するオープンキッチン・ハウス(独立住宅)」の発表、その後三重短大の「コミュニティセンター」近代高専の「泊まれる博物館～江戸川乱歩記念館～(公共施設)」と続いて学生が作品内容を説明。会場参加の学生も他校の学生の作品発表に真剣な面持ちで聞き入っていた。

講評では実務者ならではの厳しい指摘もありながら、「去年より作品の内容がレベルアップしている。」など温かい言葉が学生達にかけられた。全体講評では三谷氏から



「プレゼンの仕方を工夫するとより作品の内容が伝わるのではないかと。自分の学校にこもっていると分からない事もある、この会に参加し他の学生のプレゼンを見られる事はとても有意義。」と建築学生への激励の言葉が伝えられた。

山本 覚康 (JIA三重)

山本一級建築士事務所

